

教科・領域【 工 業 】 科目【 インテリア計画 】

学科・コース	インテリア	学 年	第 2 学年	単位数	2 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

インテリアの概念とそれを計画するために必要な基礎技術を習得するとともに、最近関心の持たれている住まいの安全と快適性の問題、および高齢者への対応についても学習する。

2 使用する主な教材等

- (1) 使用教科書, 副教材等
「インテリア計画」実教出版発行
- (2) 授業で配布するもの
資料プリント

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科等との関連等)	考查範囲等		
一 学 期	第4章 人間工学	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人間工学の基盤を理解する。 ・人体寸法をもとにしたさまざまな作業域や空間を学習する。 ・インテリアへの人体寸法の応用について学習する。 ・人体寸法をもとにしたインテリアの安全について学習する。 	空間の構成の基準は人体寸法にあることを理解させる。 「人→椅子→机」の順で寸法は決定する。 日常災害に重点	1 学期 中間考查		
		5				1 学期 期末考查	
		6			<ul style="list-style-type: none"> ・規模には空間規模だけでなく施設規模というのもあり、建築やインテリアを計画する際にはとても重要であることを理解させる。 		2 学期 中間考查
	7						
	《課題・提出物等》 定期考查終了時にノートを提出 自習課題の確認						
	《1 学期の学習状況の評価方法》 ノート・プリント等の提出状況と内容、授業態度を平常点とする・・・3割 定期考查（中間・期末）・・・7割						

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科等との関連等)	考查範囲等
二 学 期	第5章 寸法計画と規模計画	9	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な設計のための基準について学ぶ。 ・モジュラーコーディネーションによる構成材と互換性について学ぶ。 ・グリッドプランニングによる設計手法を学ぶ。 ・動線計画とは何かを理解する。 	インテリア製図と関連	} 2学期 中間考查
	第7章 各種空間の設計	10			
《課題・提出物等》 定期考查終了時にノート提出 自習課題の確認					
《2学期の学習状況の評価方法》 ノート・プリント等の提出状況と内容、授業態度を平常点とする・・・3割 定期考查（中間・期末）・・・7割					
三 学 期	各種空間の設計	1	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス空間について設計の重点を学ぶ。 ・商業空間について設計の重点を学ぶ。 ・その他の施設の空間について空間計画を学ぶ。 		} 学年末考查
	《課題・提出物等》 定期考查終了時にノート提出 自習課題の確認				
《3学期の学習状況の評価方法》 ノート・プリント等の提出状況と内容、授業態度を平常点とする・・・3割 学年末考查・・・7割					
《年間の学習状況の評価方法》 一学期末評点、二学期末評点、三学期末評点 を各学期の平均点で算出する。 ※実力考查等でインテリア計画を実施した場合は、その結果を評価に加える。					